



かさまつの子

笠松町道德教育連絡会議



あいさつ・掃除・生きものの世話

笠小、三つの自慢

三月二十六日の終業式に一年の山根たくみさんが「あいさつがんばったよ」を発表しました。

ぼくが、この一年かんに「がんばったよ」と発表したのは、あいさつです。いつも学校にいたら、「おはようございます」と、大きなこえであいさつをします。

.....

とうとうするとちゅう、ほんの人といっしょに、よそのおじさんとおばさん「おはようございます」と、大きなこえであいさつしたら、あいさつをかえしてくださったので、うれしかったです。

一年生になっても、気持ちよくてあいさつをしたいと思います。

どうですか。山根さんの生き生きしたあいさつの様子が目に浮かぶようです。

「よそのおじさんとおばさんがあいさつをかえしてくださったので、うれしかったです。」このあいさつを返してください。近所のかたもありがたいです。子どもはみんな育てたいですね。

笠小には「笠松小の子の十一のめあて」があり、その中に、

「気持ちよいあいさつ」

「ちからいっぱいそうじ」

「こんきよくいきものの世話」

の「笠小、三つの自慢」があります。

毎学期の終わりに、この十一のめあてを自己点検します。クラスごとに集計し全校では、以下のよう

です。

気持ちよいあいさつ

一学期 216

二学期 148

三学期 25

二学期	210
三学期	253
ちからいっぱいそうじ	
一学期	213
二学期	234
三学期	255
こんきよくいきものの世話	
一学期	239
二学期	278
三学期	255

二学期	151
三学期	117
こんきよくいきものの世話	
一学期	149
二学期	137
三学期	120

二学期	28
三学期	18
ちからいっぱいそうじ	
一学期	26
二学期	17
三学期	13

二学期	16
三学期	19
ちからいっぱいそうじ	
一学期	134
二学期	92
三学期	107

二学期	28
三学期	18
ちからいっぱいそうじ	
一学期	26
二学期	17
三学期	13

二学期	16
三学期	19
ちからいっぱいそうじ	
一学期	134
二学期	92
三学期	107

二学期	28
三学期	18
ちからいっぱいそうじ	
一学期	26
二学期	17
三学期	13

二学期	16
三学期	19
ちからいっぱいそうじ	
一学期	134
二学期	92
三学期	107

二学期	28
三学期	18
ちからいっぱいそうじ	
一学期	26
二学期	17
三学期	13

二学期	16
三学期	19
ちからいっぱいそうじ	
一学期	134
二学期	92
三学期	107

二学期	28
三学期	18
ちからいっぱいそうじ	
一学期	26
二学期	17
三学期	13

二学期	16
三学期	19
ちからいっぱいそうじ	
一学期	134
二学期	92
三学期	107

二学期	28
三学期	18
ちからいっぱいそうじ	
一学期	26
二学期	17
三学期	13

二学期	16
三学期	19
ちからいっぱいそうじ	
一学期	134
二学期	92
三学期	107

二学期	28
三学期	18
ちからいっぱいそうじ	
一学期	26
二学期	17
三学期	13

二学期	16
三学期	19
ちからいっぱいそうじ	
一学期	134
二学期	92
三学期	107

二学期	28
三学期	18
ちからいっぱいそうじ	
一学期	26
二学期	17
三学期	13

二学期	16
三学期	19
ちからいっぱいそうじ	
一学期	134
二学期	92
三学期	107

二学期	28
三学期	18
ちからいっぱいそうじ	
一学期	26
二学期	17
三学期	13



教育委員会だより

教育電話相談

悩んだら気楽に
電話してください
郡四町教育委員会
☎245・1133

見つめよう、家庭教育

家庭教育とはなんでしょう。昨今問われている過保護・過干渉や親子ふれあいの減少、屋外での仲間遊びの減少による社会性のなさ等は、自分の子どもにどのよう

に影響しているかご存じでしょうか。わが家の子育て方針は、のびのび教育「しつけを大切にしています」など、家庭教育の考え方は様々です。ある家庭では、お母さんが子どもにしょっちゅう話しかけては、たわいもないことで大笑いしています。その子どもは保育園児なのですが、実に明るくおおらかに育っています。親子ともテレビは赤ちゃんのうちからあまり見なかつたそう、最近見るテレビは相撲や野球だけ。保育園児なのに「あさしゅうりゅう、つよい。きまりてがうわてなげ」と解説者並みに話すそうです。その子を前にお母さ

んはにこにこしながら「すこいねえ、強いねえ」と一緒に話しています。でも、保育園では暴れて迷惑をかけた、家で言うことを聞かなくて思わず手を出してしまったりと悩みはつきないとのこと。「将来が心配で」とも言われます。子どもを育てるとは、相手(子)をよく知り、子どもの自分づくりを支えていくことです。でも、どうしていいのかわからず、子育てに悩む親は多いのです。そんな悩みやうまくいっていることなどを交流しあえると、子育てにも自信がもてますね。学校や地域にある家庭教育学級とか乳幼児学級では、そんな話をしながら力強いアドバイスをしていただけます。家庭教育を見つめるきっかけにもなります。わが子のためにも自分のためにも積極的に子育てで交流をしてみましょ。

笠松小学校 校長 丹羽 利国